

漂流するアクアカフェ vol.5

モリムラカフェ：なんで大学移転なん？～森村泰昌氏を迎えて

Drift@KCUA-Café vol.5 Why does KCUA move? with Yasumasa Morimura

2016年10月5日(水) 午後4時半～6時半

October 5 (wed), 2016 16:30 - 18:30

京都芸大内・購買西側テラス付近にて

at KCUA East Terrace

なんで 大学移転 なん？

1880(明治13)年の創設以来、京都市内を点々としてきた京都芸大は、1980年に現在の沓掛地区に移転、さらに今また数年以内に京都駅東の崇仁地区への移転が計画されています。今年度の第5回「漂流するアクアカフェ」では、1970年代に東山の今熊野校舎で学ばれた美術家・森村泰昌氏を迎えて、「なんで大学移転なん？」と題して、参加者とともに大学移転をゼロから考えます。

そもそもなぜ移転するのか？

芸術大学はどこにどのようにあればいいのか？

そうしたことを自分たちの問題として捉え返すために、多くの学生・教職員の方々の参加を募ります。

**森村氏との対話、会場設営・記録等の協力者募集！
いっしょにモリムラカフェをつくりましょう！**

連絡・問合せ先：漂流するアクアカフェ実行委員会 driftakcua@gmail.com
井上明彦 aki@kcua.ac.jp

主催：漂流するアクアカフェ実行委員会 協力：芸術資源研究センター

森村泰昌(もりむら やすまさ)

主な経歴		
1951	大阪市天王寺区生まれ。府立高津高校を卒業。1年間の浪人生活を経て、	
1971	京都市立芸術大学(以下、京都芸大)美術学部工芸科デザインコースに入学	
1975	京都芸大工芸科デザイン専攻を卒業。同年、松下電工(現パナソニック電工)株式会社に入社するも3日で退職。京都芸大に聴講生として学ぶ傍ら、高津高校の非常勤講師として勤務。	
1976	引き続き高校や短大の非常勤講師を務めながら、京都芸大専攻科デザイン専攻に入学。	
1980	京都芸大美術学部映像教室非常勤講師。写真家で美術学部教授のアーネスト・サトウに師事。	
1983	ギャラリー・マロニエ(京都)で初個展。当初の作風は静謐で幻想的なオブジェや身体の手足などを卓上に配した「卓上のバルコネグロ」と題したモノクロ写真シリーズ。	
1984	グループ展「オレ達は寡黙じゃない、わかりますか」(ギャラリービュウ、大阪)	
1985	グループ展「ラデカルな意志のスマイル」(ギャラリー16、京都)ゴッホの自画像に扮するセルフポートレイト写真を制作・発表、大きな反響を呼ぶ。以降、今日に至るまで一貫して「自画像的作品」をテーマに作品を作り続ける。	
1988	ベニスビエンナーレの若手部門アベルト88に選出、以降国内外で展覧会を開催する。	
1996	横浜美術館で個展「美に至る病／女優になった私」	
1998	東京都現代美術館で個展「空想美術館／絵画になった私」	
2001	原美術館で個展「私の中のフリーダ／森村泰昌のセルフ・ポートレイト」	
2006	京都府文化功労賞受賞	
2008	芸術選奨文部科学大臣賞受賞	
2010	東京都写真美術館ほかを巡回個展「なにものかへのレクイエム／戦場の頂上の芸術」	
2011	第52回毎日芸術賞、日本写真協会賞、第24回京都美術文化賞を受賞。同年秋、紫綬褒章を受章。	
2014	ヨコハマトリエンナーレ2014「華氏451の芸術:世界の中心には忘却の海がある」のアーティスティックディレクター。京都市立芸術大学客員教授。また同年から開催された釜ヶ崎芸術大学で講師を務める。	
2016	国立国際美術館で個展「森村泰昌:自画像の美術史「私」と「わたし」が出会うとき」	

文章の仕事も多く、主な著書に『踏みはずす美術史』講談社現代新書(1998)、『芸術家Mのできるまで』筑摩書房(1998)、『美術の解剖学講義』ちくま学芸文庫(2001)、『森村泰昌／全女優』二玄社(2010)、『まねぶ美術史』赤々舎(2010)、『対談 なにかへのレクイエム／20世紀を思考する』岩波書店(2011)、『知識ゼロからのフェルメール鑑賞術』幻冬舎(2013)、『美術、応答せよ! 一小学生から大人まで、芸術と美の問答集』筑摩書房(2014)、『自画像の告白:「わたし」と「私」が出会うとき』筑摩書房(2016)

漂流する京都芸大

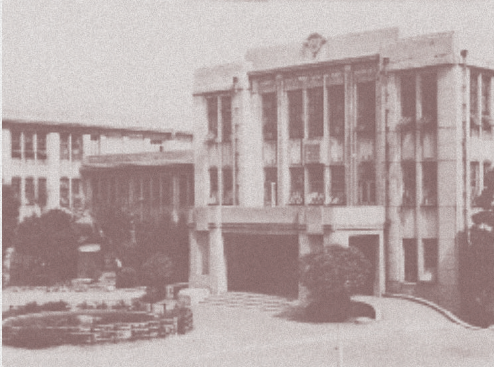
1880	明治13年	京都府画学校創立(京都御苑旧准后里御殿を仮校舎とする)
1882	明治15年	暴風のため校舎破損、河原町織殿へ移転
1885	明治18年	河原町元勸業場跡へ移転
1889	明治22年	京都市の経営に移り、京都市画学校と改称(京都御苑内博覧会東館へ移転)
1890	明治23年	東山華頂山麓、知恩院通照院へ移転
1891	明治24年	京都市美術学校と改称
1893	明治26年	京都御苑内東南隅の新校舎へ移転
1894	明治27年	京都市美術工芸学校と改称
1907	明治40年	上京区吉田川端通荒神口の新校舎へ移転
1909	明治42年	京都市立絵画専門学校創立(美術工芸学校の校舎の一部を転用)
1926	大正15年	東山区今熊野の新校舎へ移転
1945	昭和20年	京都市立美術専門学校と改称
1950	昭和25年	京都市立美術大学創立
1952	昭和27年	京都市立音楽短期大学創立(上京区出雲路立本町)
1956	昭和31年	音大、左京区聖護院の市警察学校跡へ移転
1969	昭和44年	美術大学と音楽大学を統合、京都市立芸術大学開学
1970	昭和45年	美術学部改革案(専攻の撤廃、研究テーマと制作室にもとづく組織へ)
1980	昭和55年	西京区大枝寄掛へ移転 美術学部改革案修正(美術・デザイン・工芸の3科11専攻へ) 大学院美術研究科修士課程設置
1986	昭和61年	大学院音楽研究科修士課程設置
1999	平成11年	美術学部総合芸術学科設置
2000	平成12年	大学院美術研究科博士(後期)課程設置 大学院美術研究科修士課程保存修復専攻設置 日本伝統音楽研究センター開設 創立120周年を迎える
2002	平成14年	音楽学部音楽学専攻設置
2003	平成15年	大学院音楽研究科博士(後期)課程設置
2010	平成22年	京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA(アクア)設置 創立130周年を迎える
2012	平成24年	公立大学法人へ移行
2014	平成26年	芸術資源研究センター開設



建設中の今熊野校舎、1926(大正15)年



竣工した今熊野校舎、1926(大正15)年



今熊野校舎と前庭の丸池、1928(昭和3)年



首掛校舎起工式典、1977(昭和52)年4月19日



建設中の首掛キャンパス、1979(昭和54)年



完成直後の首掛キャンパス、1980(昭和55)年